

再評価結果（平成22年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：深澤 淳志

事業名 一般国道474号 三遠南信自動車道 佐久間道路・三遠道路	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 中部地方整備局
起終点 自：静岡県浜松市天竜区佐久間町河合 至：静岡県浜松市北区引佐町東黒田		延長 27.9km
事業概要 三遠南信自動車道は飯田市・浜松市を結ぶ全長約100kmの路線であり、東名・新東名・中央道を高速ネットワークで連絡することで災害に強い道路網の構築、地域医療サービスの向上、観光・交流における地域間連携等の地域間の強化、三遠南信地域の秩序ある開発や発展に寄与する道路である。その一部を構成する佐久間道路・三遠道路は、奥三河、北遠地域の高速サービス提供、災害に強い地域間ネットワークの構築、沿線地域開発及び地域交流支援の連携強化に資する延長27.9kmの道路である。		
H5年度事業化	H 都市計画決定	H13年度用地着手
H15年度工事着手		
全体事業費 約 1,400 億円 事業進捗率 50% 供用済延長 0km		
計画交通量 10,200台/日		
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1. 2 (残事業) 2. 5	総費用 (残事業)/(事業全体) 641/1,365億円 (事業費：566/1,290億円) (維持管理費：75/75億円)
総便益 (残事業)/(事業全体) 1,586/1,586億円 (走行時間短縮便益：1306/1306億円) (走行経費減少便益：221/221億円) (交通事故減少便益：58/58億円)		基準年 平成21年
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施 交通量変動 : B/C=4.3 (交通量 +10%) B/C=2.1 (交通量 -10%) 事業費変動 : B/C=2.3 (事業費 +10%) B/C=2.7 (事業費 -10%) 事業期間変動 : B/C=2.4 (事業期間 +10%) B/C=2.6 (事業期間 -10%)		
事業の効果等 ①円滑なモビリティの確保 ・現道等の渋滞損失時間の削減が見込まれる。 【約35,123万人時間/年→約29,716万人時間/年 約15%削減】 ・北遠地域・奥三河地域からJR浜松駅・中部国際空港・富士山静岡空港へのアクセスが向上。 【浜松市天竜区佐久間地区～JR浜松駅100分→60分、中部国際空港170分→100分、富士山静岡空港150分→90分】 ②物流効率化の支援 ・北遠地域・奥三河地域から重要港湾三河港、御前崎港へのアクセスが向上。 【浜松市天竜区佐久間町～三河港 110分→70分 御前崎港 170分→110分】 ③国土・地域ネットワークの構築 ・飯田市と浜松市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成。 ・並行する国道473号等のすれ違い困難区間の回避可能。 ④地域連携の強化 ・高速道路IC60分圏域拡大により、三遠南信地域の広域的な交流を促進。 【奥三河地域IC60分圏人口カバー率 74%→100% 北遠地域のIC60分圏人口カバー率90%→100%】 ⑤個性ある地域の形成 ・三遠南信地域一体での活性化を目的にした「三遠南信連携ビジョン」を支援。 ・西遠地域や東三河地域に多くある観光施設へのアクセス向上が期待され、地域振興(浜名湖観光圏整備計画)に寄与。 ⑥安全で安心できるくらしの確保 ・奥三河地域、北遠地域から浜松市の聖隷三方原病院(三次医療施設)へのアクセスが向上。 【浜松市天竜区佐久間地区→聖隷三方原病院 75分→45分】 ・国道152号等の線形不良区間の回避、現道における通過交通の減少により安全性が向上。 ⑦災害への備え ・国道152号等の事前通行規制区間の回避可能。 ⑧地球環境の保全		

